

## 【最新トピックス】

## 学生交流の活性化

SSIC (Sophia Student Integration Commons) では、多様なバックグラウンドを持つ学生たちのコミュニケーションを促進し、相互理解を深めることを目的として、様々な交流企画を行っています。

2023年度は対面中心の生活に戻り、学生からの「もっと交流したい」という要望の高まりを受けて、SSICでは20を超える企画を実施し、のべ761名の学生が参加しました。特に、留学生と日本人学生と一緒に身体を動かしながら日本文化を体験するイベント(紙漉き体験、抹茶挽き、相撲観戦)や、宿泊体験を伴うスタディツアー(和歌山県田辺市で地元産業体験を通してSDGsを学ぶもの、同じ学校法人である六甲学院の高校生と一緒に神戸・京都でカトリックのルーツを辿るもの)など、学生の興味関心にあわせてさまざまな文化・歴史を体験する機会を用意し、これまで以上に内容を充実させました。

実施後に行うアンケートでは毎回満足度が100%近くと非常に高く、「たくさんの留学生と交流ができて上智大生としての実感が沸いた」「普段なかなか体験できないようなことができて嬉しい」といった声がよせられています。

SSICではコロナ禍でもオンライン体験型プログラム(Zoomでの禅体験、風鈴絵付け体験)を行うなど、学生同士の繋がりを絶やさないう努めてきました。今後もグローバルワンキャンパスの強みを活かし、学生の状況やニーズに応じてさらなる交流の活性化を目指します。

なお企画実施にあたっては「株式会社ソフィアキャンパスサポート(SCS)」からの寄付を活用させていただいています。

関連記事:<https://findsophia.jp/ssic/>(上智大生のためのキャンパスメディア FIND SOPHIA)



## 「災害時安否確認システム」の導入

本学は、NTT コミュニケーションズの「Biz 安否確認／一斉通報」システムを利用し、大規模災害発生時に学生の安否情報を集約できるようにしています。

このシステムでは、震度 6弱以上の地震が発生した場合に、その地震発生エリアの対象学生のスマートフォンにプッシュ通知が、また予め登録したメールアドレスに安否確認メールが自動発信されます。確認項目は、現在地、本人の安否、

家族の安否、家屋の状況などで、これに学生が回答することにより、大学は学生の安否を確認し、よりの確な対策を講じることができます。同時に、学生にとっても大学とつながる大切なツールとなります。

さらに、大地震発生時のみならず、一斉通報の機能を使い、大学から重要なお知らせを流すこともあります。例えば台風や大雪等の急な休講の連絡等にも今後使用していく予定です。また、学生が本システムにご家族の情報を事前登録し、ご家族も同じシステムのスマートフォンアプリをインストールすることで、大地震発生時に学生の回答を共有し、学生とご家族との間での安否情報の確認を行うことができます。詳細は、2024年 4月に Loyola(学生向け教学支援システム) 掲示板にて案内しています(「安否確認」で検索)。



PC版



スマートフォンアプリ版

## 上智大学健康相談ダイヤルについて

学生の皆さんの心身の健康をサポートするために「上智大学健康相談ダイヤル」を開設しています。

健康相談・医療機関情報・メンタルヘルスの相談などについて、在学生とその保証人の方が利用できます。(24時間・年中無休)

経験豊かな医師、保健師、看護師などのスタッフが相談に応じます。

専門ダイヤルは、以下の案内からご確認ください。(電話番号は、関係者のみに公開しています)

[上智大学健康相談ダイヤル](#) ◀ ◀ クリックでPDF資料が開きます